平成２８年度　指定管理者年度評価シート

１　公の施設の基本情報

施設名称	千葉ポートアリーナ
条例上の設置目的	スポーツの振興及び文化の向上を図るため。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	トップスポーツのホームゲーム開催や競技スポーツの国際大会・全国大会の開催や、市民総体等の市民レベルの大会の開催の他、障害者スポーツ施策の展開における拠点等、市スポーツ施策の中心的役割を果たす。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	市スポーツ施策と一体となり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプ受入れや障害者スポーツ大会の受入れ、更には市内他施設において需要の吸収が困難な市民レベルの大会等の受入れを中心に行う。
制度導入により見込まれる効果	本施設は、国際的・全国的なトップスポーツのイベントや各種文化イベントの開催が可能な高水準の設備を備えた集客施設であるが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる推進や他施設では吸収が困難な市民総体等の市民レベルの大会の優先的な受入れといった、市スポーツ施策の展開により、施設の効用を発揮することが大幅に制限されることで、収益性が低下することが予想される。 　そのような状況下で、本施設の提供する市民サービスを低下させることなく、安定的、継続的な運営を行うとともに、市スポーツ施策と一体となった柔軟かつ弾力的な管理運営を期待する。
成果指標※	①　施設利用者数 ②　スポーツ教室開催数
数値目標※	①　250,000人／年　以上 ②　20教室／年　以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

※　成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

２　指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人　千葉市スポーツ振興財団
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区問屋町１番２０号
指定期間	平成２８年４月１日～平成３３年３月３１日（５年）
選定方法	非公募
非公募理由	千葉ポートアリーナについては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる展開により施設利用が大幅に制限され、民間事業者の創意工夫による効用の発揮、収益拡大は見込めない。 現在の指定管理者である千葉市スポーツ振興財団は、収益を目的としない公益財団法人であり、市の施策実現のために設立された外郭団体であることから、市と一体となった効果的・効率的な施策の実施や、柔軟かつ弾力的な対応が可能となるため、非公募で選定する。
管理運営費の財源	指定管理料

３　管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※
施設利用者数	260,000(250,000)	269,831	103.8%(107.9%)
スポーツ教室開催数	25(20)	25	100.0%(125.0%)

※　数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（２）その他利用状況を示す指標

指　標	H○年度実績

4　収支状況

（1）必須業務収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		H28年度	【参考】H27年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	163,872	164,192	実績－計画	△ 21,104	指定管理料の戻入による。
	計画	184,976	164,192	計画－提案	0	
	提案	184,976	159,615			
利用料金収入	実績	79,999	81,962	実績－計画	△ 3,866	専用利用料金収入の減少による。
	計画	83,865	85,379	計画－提案	0	
	提案	83,865	83,043			
その他収入	実績	0	1,743	実績－計画	0	
	計画	0	1,687	計画－提案	0	
	提案	0	1,644			
合計	実績	243,871	247,897	実績－計画	△ 24,970	
	計画	268,841	251,258	計画－提案	0	
	提案	268,841	244,302			

イ　支出

（単位：千円）

費　目		H28年度	【参考】H27年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	62,735	59,376	実績－計画	△ 754	
	計画	63,489	60,316	計画－提案	0	
	提案	63,489	58,559			
事務費	実績	67,089	75,972	実績－計画	△ 22,563	光熱水費単価の値下がりによる。
	計画	89,652	75,540	計画－提案	0	
	提案	89,652	69,817			
管理費	実績	107,990	116,268	実績－計画	△ 7,710	修繕費の減少による。
	計画	115,700	115,402	計画－提案	0	
	提案	115,700	112,287			
委託費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
その他事業費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
本社費・共通費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	237,814	251,616	実績－計画	△ 31,027	
	計画	268,841	251,258	計画－提案	0	
	提案	268,841	240,663			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

（２）自主事業収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		H28年度	【参考】H27年度
自主事業収入	実績	4,673	4,635
その他収入	実績	0	0
合計	実績	4,673	4,635

イ　支出

（単位：千円）

費　目		H28年度	【参考】H27年度
人件費	実績	438	
事務費	実績	432	
管理費	実績		
委託費	実績	248	
使用料	実績		
事業費	実績	3,514	
利用料金	実績	1,405	
その他事業費	実績		
本社費・共通費	実績		
合計	実績	6,037	3,589

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

（３）収支状況

（単位：千円）

		H28度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	243,871	247,897
	支出合計	237,814	251,616
	収　支	6,057	△ 3,719
自主事業	収入合計	4,673	4,635
	支出合計	6,037	3,589
	収　支	△ 1,364	1,046
総収入		248,544	252,532
総支出		243,851	255,205
収　支		4,693	△ 2,673
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

５　管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	
スポーツ教室開催数	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	光熱水費単価の値下がりによる光熱水費の減少

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1　市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2　施設管理能力			
（１）人的組織体制の充実	C	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
（２）施設の維持管理業務	C	C	
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3　施設の効用の発揮			
（１）幅広い施設利用の確保	C	C	
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
（２）利用者サービスの充実	C	C	より手軽に購入しやすい個人利用3か月パスポート（定期券）の販売を開始した。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
（３）施設における事業の実施	C	C	
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4　その他			
市内業者の育成	C	B	有期雇用職員の市民積極雇用を推進した。 ・H27時点：市民85.7% ・H28時点：市民90.9%
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】
Ａ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（４）市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
障害者スポーツ推進のため、アンケートについて、施設の利用申込者だけでなく大会に参加する障害者も対象とするなど、アンケート方法を工夫されたい。	平成27年度	効果的な調査方法や質問項目について検討し、平成29年度に実施するアンケートから実施する。
障害者スポーツの利用にあたっては、利用料金の減免などによる収支への影響等を踏まえ、市と指定管理者との連携内容について十分に検討されたい。	平成27年度	障害者スポーツ大会での利用減免等による収支への影響等を踏まえ、委託料の算定を行った。
自主事業の魅力向上にあたり、事業内容の充実や見直しを検討されたい。	平成27年度	平成28年度は新規自主事業として、親子ふれあい体操教室を実施した。自主事業の実施内容については、今後も引き続き検討・改善していく。

６　利用者ニーズ・満足度等の把握

（１）指定管理者が行ったアンケート調査

<table>
<tr><td rowspan="4">実施内容</td><td>調査方法</td><td>施設利用者に対し、アンケート用紙を配布</td></tr>
<tr><td>回答者数</td><td>1回目:136件、2回目:45件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">質問項目</td><td>1回目:性別、利用施設、接客マナーや対応、館内の清潔さ、備品等の充実度、予約方法等</td></tr>
<tr><td>2回目:性別、利用種目、利用頻度、施設の設備、接客マナーや対応</td></tr>
<tr><td>結果</td><td colspan="2">1回目（平成28年9月13日（水）～平成28年10月15日（土））
【性別】男性：51%、女性49%
【利用施設】メインアリーナ49%、サブアリーナ40%、トレーニング室（２）11%
【接客マナーや対応】とても良い57%、まあ良い39%、やや悪い4%、非常に悪い0%
【館内の清潔さ】とても良い64%、まあ良い34%、やや悪い2%、非常に悪い0%
【備品（用具）等の充実度】とても良い51%、まあ良い43%、やや悪い5%、非常に悪い1%
【予約方法】ちば施設予約サービス53%、電話28%、施設窓口19%
【予約方法に対する満足度】満足95%、不満5%

2回目（平成29年2月15日（水）～平成29年3月14日（火））
【性別】男性69%、女性31%
【利用種目】フットサル24%、バスケットボール20%、新体操11%、バレーボール13%、
バドミントン9%、バトントワリング7%、その他16%
【利用頻度】はじめて7%、年に数回36%、月に1回程度42%、週に1回程度13%、週に2回程度2%、
週に3～4回程度0%、週に5～6回程度0%、毎日0%
【施設の設備】とても良い84%、まあ良い16%、やや悪い0%、非常に悪い0%
【接客マナーや対応】とても良い76%、まあ良い24%、やや悪い0%、非常に悪い0%</td></tr>
</table>

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
バスケットゴールの場所がたまにずれているので、正確な場所に置いて頂けると嬉しい。	移動式バスケットゴールの場所にずれが生じないように、より一層注意を払う。
トレーニング室(2)の鏡の前の手すりを直してほしい。	手すりの固定器具に不具合があり、修繕を実施済み。

7　総括

（1）指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	施設個人利用者向けにより手軽に購入できる3か月定期券の販売を開始する等、利用者視点に立ったサービスを実施した。 総合的には、概ね管理運営の基準や事業計画に則した良好な管理運営を行うことができたと考える。

（2）市による評価

総括評価	C	所見	成果指標に係る数値目標の達成状況は、施設利用者数で104%、スポーツ教室開催数で100%となっており、一定の成果をあげていることが認められる。 3か月定期券の販売等、利用者ニーズを重視した運営は評価する事ができる。 総合的には、管理運営の基準等に則した適切な管理運営が行われていたと認められる。

【評価の内容】
Ａ：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
Ｄ：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（3）市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について
（ア）市民サービス向上のため、施設の特性を活かした魅力的な自主事業の実施をされたい。
（イ）利用者ニーズを的確に把握することにより、引き続き施設利用者数の増加に努められたい。
（ウ）指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、一般正味財産が増加しており、利益が生じるなど、財務状況は良好であり、倒産・撤退のリスクはないと判断される。